

出張講義

コンピュータ

わかるようでわからないコンピュータのキホン

担当教員: 倉本 到 教授

いろいろな情報が手軽に扱えるコンピュータは今みなさんの手元で当たり前動いていますが、そもそもコンピュータは電気で動いている機械です。コンピュータはいったい電気をどう使って文字や画像や音楽を伝えたり覚えたり、はたまた計算したりできるのでしょうか？

この講義では、計算機がデータを扱う方法の最も基礎の部分から実際に使われている方法まで、当たり前なのだけどよくわからない「情報」の取り扱いについて学びます。具体的には(1)コンピュータの計算とは何か、(2)画像や音をコンピュータで扱う方法、(3)ネットワークでのデータのやり取り、(4)社会に影響を与えるコンピュータと情報、などのトピックを取り上げ、皆さんが勉強している学問とコンピュータ技術との関係にも触れながら学んでゆきます。

- 受講人数の目安: 30名程度まで
- 所要時間の目安: 50～60分
- 高校でご準備いただきたいもの: プロジェクタ、スクリーン